掘りだそう、自然の力。
Calbee

カルビーグループ決算説明会

2019年３月期第３四半期

2018年4月1日～2018年12月31日

TSE code：2229

カルビー株式会社

2019.2.5

目次

１．2019年３月期第３四半期業績報告

２．2019年３月期通期計画修正

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

１．2019年３月期第３四半期業績報告

２．2019年３月期通期計画修正

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

2019年３月期第３四半期業績　決算ハイライト

掘りだそう、自然の力。
Calbee

決算サマリ（対前年同期）

■累計：馬鈴しょ不足の影響があった前年同期に対し、ポテトチップスの需要増により増収・増益

■第３四半期：海外スナック、海外フルグラ拡大により、ベーカリー子会社売却影響を除くと増収
物流費・原材料費の悪化等のコスト上昇を吸収しきれず減益

	2019年３月期 第３四半期 【９ヶ月】		伸び率 (前年同期比)	2019年３月期 第３四半期 【３ヶ月】		伸び率 (前年同期比)
	(百万円)	売上高比(%)	(%)	(百万円)	売上高比(%)	(%)
売上高 (ベーカリー子会社売却影響を除く伸び率※)	**187,022**	100.0	+0.2 (+5.7)	**65,955**	100.0	△2.8 (+2.2)
営業利益	**20,441**	10.9	+6.5	**8,700**	13.2	△1.7
経常利益	**20,840**	11.1	+7.3	**8,280**	12.6	△6.6
当期純利益	**15,019**	8.0	+14.9	**5,390**	8.2	△10.5

※2018年4月にベーカリー子会社株式を譲渡

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

2019年３月期第３四半期業績　レビュー

掘りだそう、自然の力。
Calbee

決算サマリ（対計画）

- 国内フルグラおよび海外スナックの回復遅れにより、売上利益ともに未達
- 物流費・原材料費等のコスト上昇の影響により利益率悪化

KPIs（重要業績評価指標）	通期目標（期初計画）	2019年３月期 第３四半期 計画【９ヶ月】	2019年３月期 第３四半期 実績【９ヶ月】	計画進捗
増収率（ベーカリー子会社売却影響を除く伸び率）	+1.4%	+2.9%（+8.6%）	**+0.2%（+5.7%）**	☂
営業利益増益率	+10.0%	+18.7%	**+6.5%**	☂
営業利益率	11.6%	11.9%	**10.9%**	☂
海外売上比率	17.5%	17.2%	**15.9%**	☂
販売費比率	15.3%	15.4%	**15.5%**	☁

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

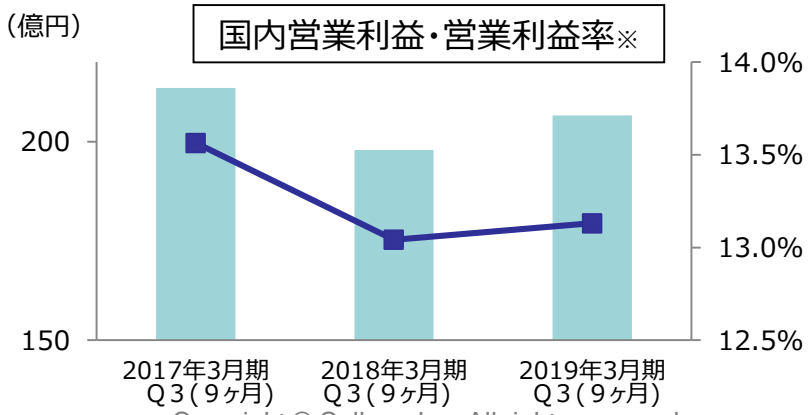
2019年３月期第３四半期業績　国内事業

掘りだそう、自然の力。
Calbee

ポテトチップス・個食スナックの新商品（じゃがりこシリーズ等）の販売好調が継続

（百万円）

	2019年３月期 第３四半期 【９ヶ月】	伸び率 (%)	2019年３月期 第３四半期 【３ヶ月】	伸び率 (%)
国内売上高 （ベーカリー子会社売却影響を除く伸び率）	**157,290**	**△2.6** （+3.7）	**54,704**	**△6.9** （△1.3）
スナック	135,757	+4.9	47,565	△1.6
ポテトチップス	63,063	+14.9	23,096	△1.4
じゃがりこ	28,044	+5.7	9,289	△0.3
上記以外スナック	44,648	△6.9	15,179	△2.6
シリアル	18,322	△0.5	5,914	+5.7
国内営業利益 （売上高比）	**20,653** （13.1%）	**+3.9** （+0.8pts）	**8,872** （16.2%）	**△4.4** （+0.4pts）



※2018年3月期・2017年3月期は
ベーカリー子会社を除く

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

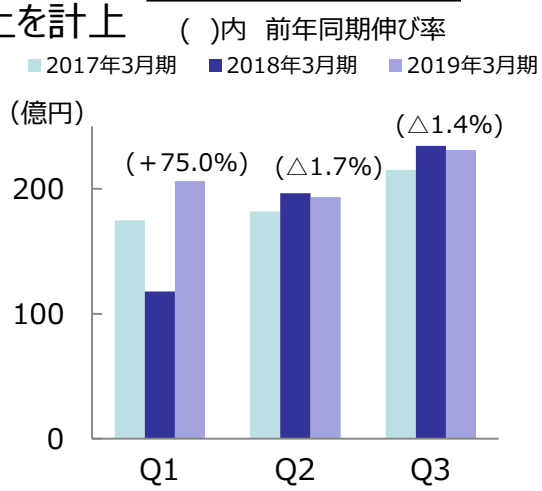
2019年３月期第３四半期業績　国内スナック

掘りだそう、自然の力。
Calbee

ポテトチップス

■　上期：前年同期の休売商品の販売再開と増量キャンペーンにより大きく伸長
■　第３四半期(３ヶ月)：特に強い需要のあった前年同期とほぼ同レベルの売上を計上
　・年末の需要期に大容量の商品を中心に販売強化
　・47都道府県ポテトチップス(♥JPN)2018第１弾の発売
　・「うすしお味」等の定番品および「堅あげポテト」が堅調

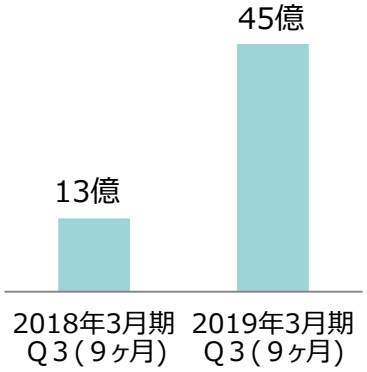
ポテトチップス売上高



個食スナック

■個食スナックの売上は前年同期比３倍以上
■新商品「とうもりこ」「えだまりこ」「極じゃが」「miino」が貢献

個食スナック売上高



Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

2019年３月期第３四半期業績　海外事業

掘りだそう、自然の力。
Calbee

フルグラの中国輸出の拡大、英国のSeabrook事業買収、インドネシアの販売拡大により増収
北米のコスト改善により海外全体で赤字幅改善

（百万円）

	2019年３月期 第３四半期【9ヶ月】	伸び率 (%)	為替影響を除く 実質伸び率(%)	2019年３月期 第３四半期【3ヶ月】	伸び率 (%)
海外売上高	**29,731**	**＋18.0**	**＋19.4**	**11,251**	**＋23.4**
スナック	25,734	＋9.3	－	9,435	＋18.1
シリアル	3,997	＋141.3	－	1,815	＋60.4
海外営業利益 (前年同期比増減額)	**△212** (+482)	－	－	**△171** (+260)	－

＜地域別業績＞

（百万円）

	売上高					営業利益			
	2019年３月期 第３四半期【９ヶ月】	伸び率 (%)	実質伸び率 (%)	2019年３月期 第３四半期【３ヶ月】	伸び率 (%)	2019年３月期 第３四半期【９ヶ月】	前年同期 増減額	2019年３月期 第３四半期【３ヶ月】	前年同期 増減額
北米	7,323	＋1.2	＋2.1	2,144	△4.1	56	＋484	△123	＋108
中華圏	8,755	＋38.7	＋39.5	3,578	＋25.0	336	△134	238	＋99
韓国	3,398	△16.9	△17.0	1,206	△12.7	△16	＋31	6	＋63
その他アジア・豪州	7,741	＋19.1	＋23.0	2,635	＋15.3	△203	＋161	△160	＋30
欧州	2,513	＋138.4	＋138.7	1,686	＋379.7	△385	△60	△132	△41

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

2019年３月期第３四半期業績　海外事業

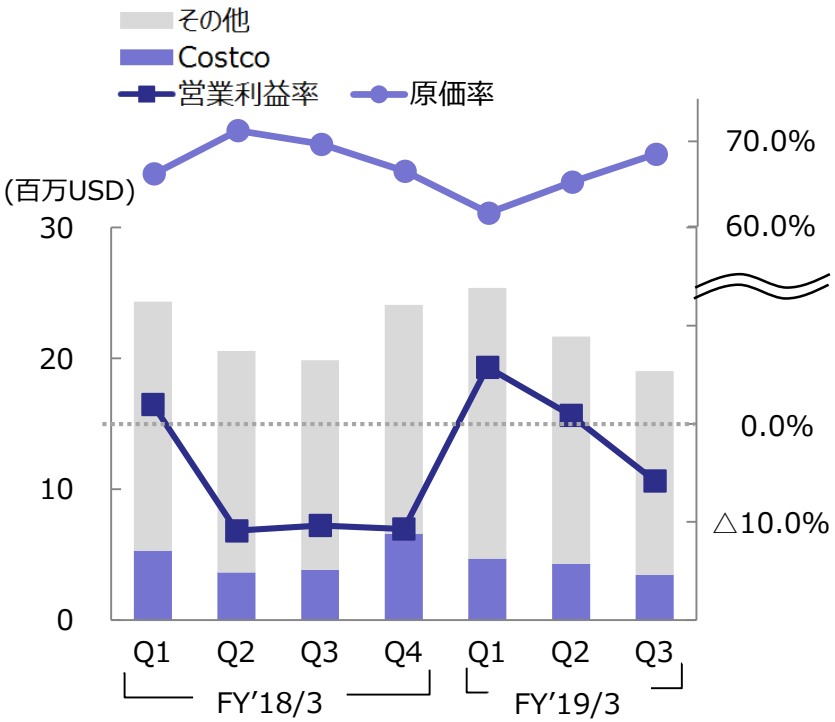
掘りだそう、自然の力。
Calbee

北米

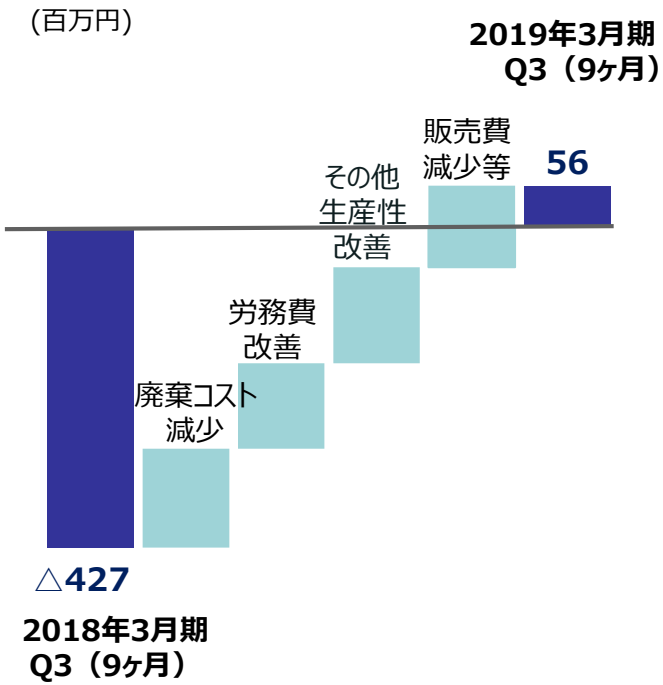
- 累計：大手顧客における売上は伸び悩むも、“Shipper Program”等の販促効果により前年比で増収
  第３四半期：オーガニック新商品への切り替えが遅れたことにより売上減少
- 廃棄コストの減少、労務費の改善、販売費の抑制等、コスト改善は進む

“Shipper Program”
野菜売り場の横などに
棚ごと商品を陳列

北米 売上高･営業利益率･原価率



北米 営業利益分析



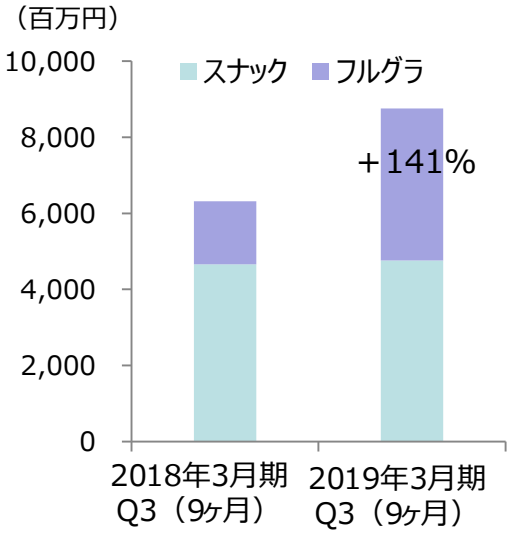
Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

2019年３月期第３四半期業績　海外事業

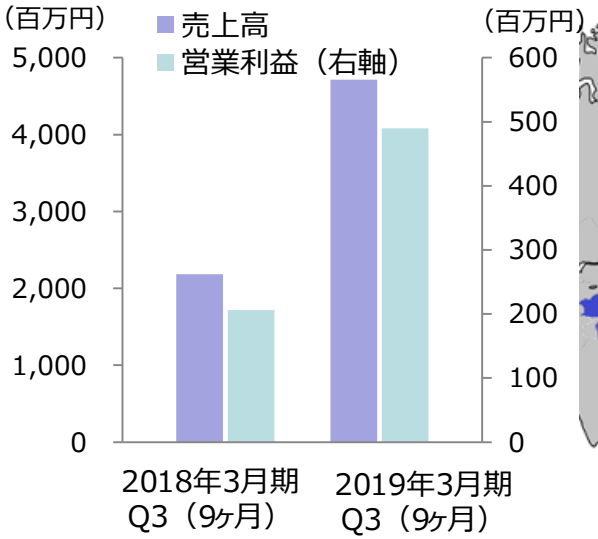
中華圏

- 売上：フルグラの拡大により大幅増収
- 営業利益：Eコマースの子会社は、フルグラの拡大により利益拡大
  一方、台湾では上期に計上したスナックの過剰在庫処分費用等により利益悪化

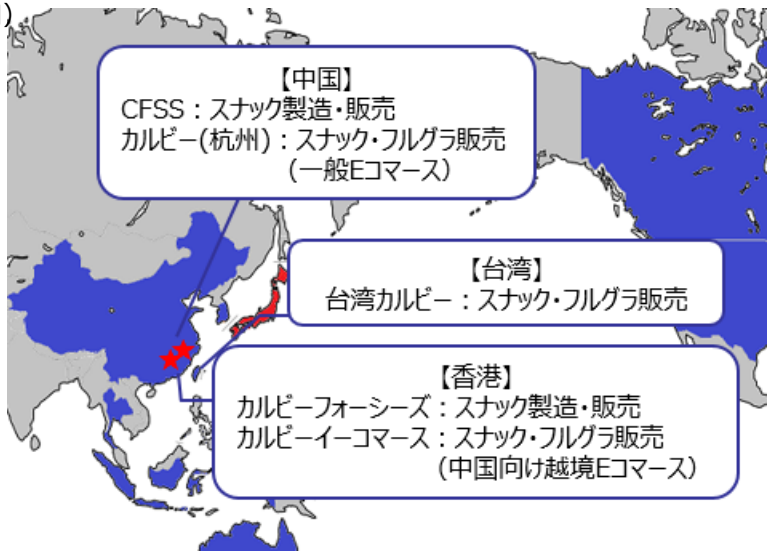
中華圏 売上高



中華圏Eコマース子会社 売上高・営業利益



中華圏　事業内容



Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

2019年３月期第３四半期業績　海外事業

掘りだそう、自然の力。
Calbee

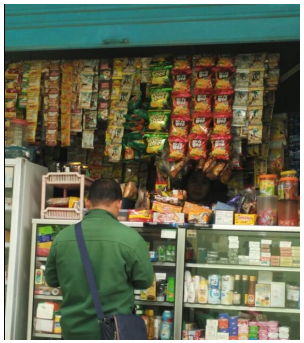
UK

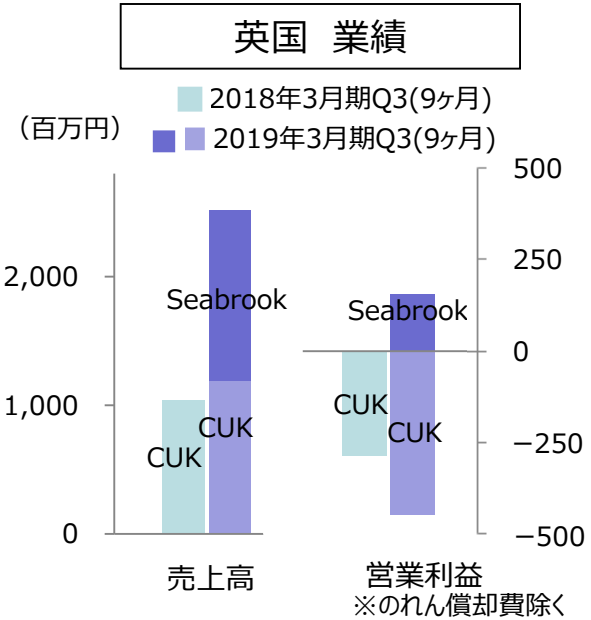
- 2018年10月に英国ポテトチップスメーカーSeabrook社を事業買収し、増収、増益に寄与
- Calbee UK(CUK)の製造・販売する既存の豆系スナック「Yushoi」は売上伸び悩み

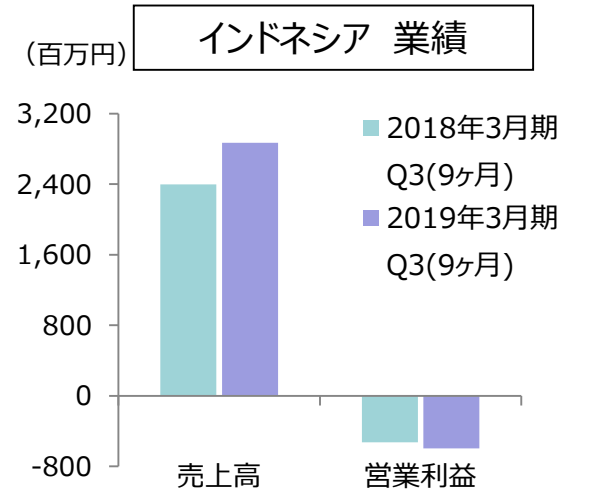
Seabrook社本社オフィス

インドネシア

- 新商品コーン系スナック「Krisbee Krunchy」、ポテトチップス「Potabee」の貢献により、前年比で売上増、市場シェア拡大
- 12月からポテトチップスの新ライン稼働開始
- 原材料費および労務費の高止まり等により営業赤字が継続







Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

2019年３月期第３四半期業績　フルグラ事業

掘りだそう、自然の力。
Calbee

国内消費は継続的な新規顧客開拓に向けた施策により第３四半期(３ヶ月)は前期を上回る
海外消費は中国向けが着実に拡大し、大幅増収

（百万円）

	2019年３月期 第３四半期【9ヶ月】	伸び率 (%)	2019年３月期 第３四半期【3ヶ月】	伸び率 (%)
フルグラ売上高	**22,320**	+11.2	**7,730**	+14.9
国内消費	17,162	△5.0	5,321	+1.5
海外消費	5,157	+157.2	2,409	+62.7

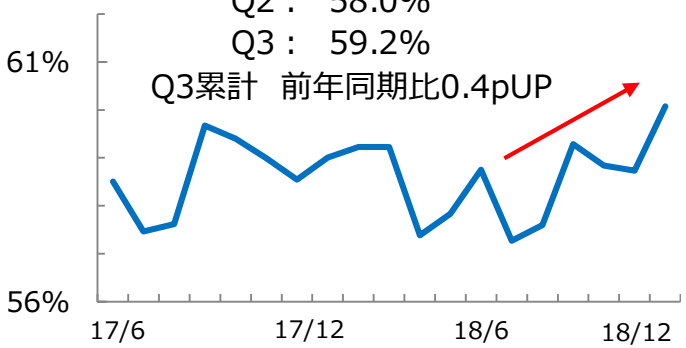
■　国内消費

グラノーラの国内市場シェアが回復基調に

- Sサイズや50g等少量タイプのサイズラインアップ拡充
- 「フルグラ糖質オフ」リニューアルおよび継続的な期間限定商品の投入が売上の回復に貢献

グラノーラ国内市場シェア

Q1：　58.0%
Q2：　58.0%
Q3：　59.2%
Q3累計　前年同期比0.4pUP



＊　出所：㈱インテージSRI 全国全業態 金額ベース
2017年6月～2018年12月

50gの店頭販売の様子

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

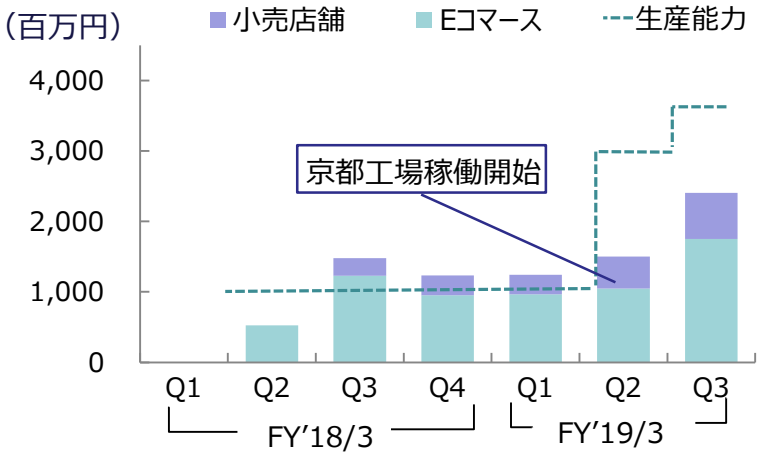
2019年３月期第３四半期業績　フルグラ事業

掘りだそう、自然の力。
Calbee

＜海外消費チャネル別売上高＞　（百万円）

	2019年３月期 第３四半期 【９ヶ月】	伸び率 (%)	2019年３月期 第３四半期 【3ヶ月】	伸び率 (%)
海外消費	5,157	+157.2	2,409	+62.7
Eコマース	3,772	-	1,754	-
小売店舗	1,384	-	654	-

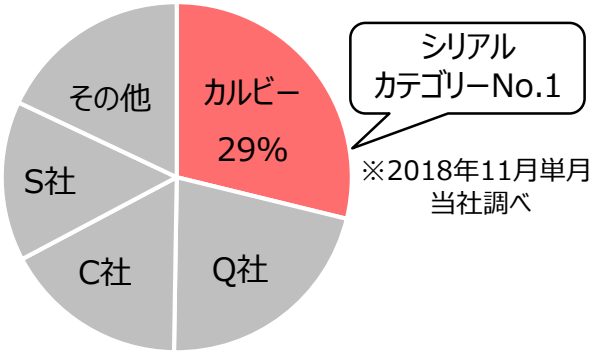
フルグラ海外消費 売上高



■ 海外消費

- Eコマース：一般Eコマースにおける販売開始、 W11、W12等の大型販促イベント実施
  (一般Eコマース)　アリババ等とのパートナー契約により、一般Eコマースでの露出拡大
  (越境Eコマース)　顧客活性化のためのチャネル限定フレーバー品の展開
- 小売店舗：　商品ラインアップ拡充(12月に抹茶味発売)、ポテンシャルの高い店舗における販売強化

＜アリババにおけるシリアルカテゴリー売上シェア※＞



※2018年11月単月
当社調べ

W11でのオフラインイベント(浙江省杭州市)

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

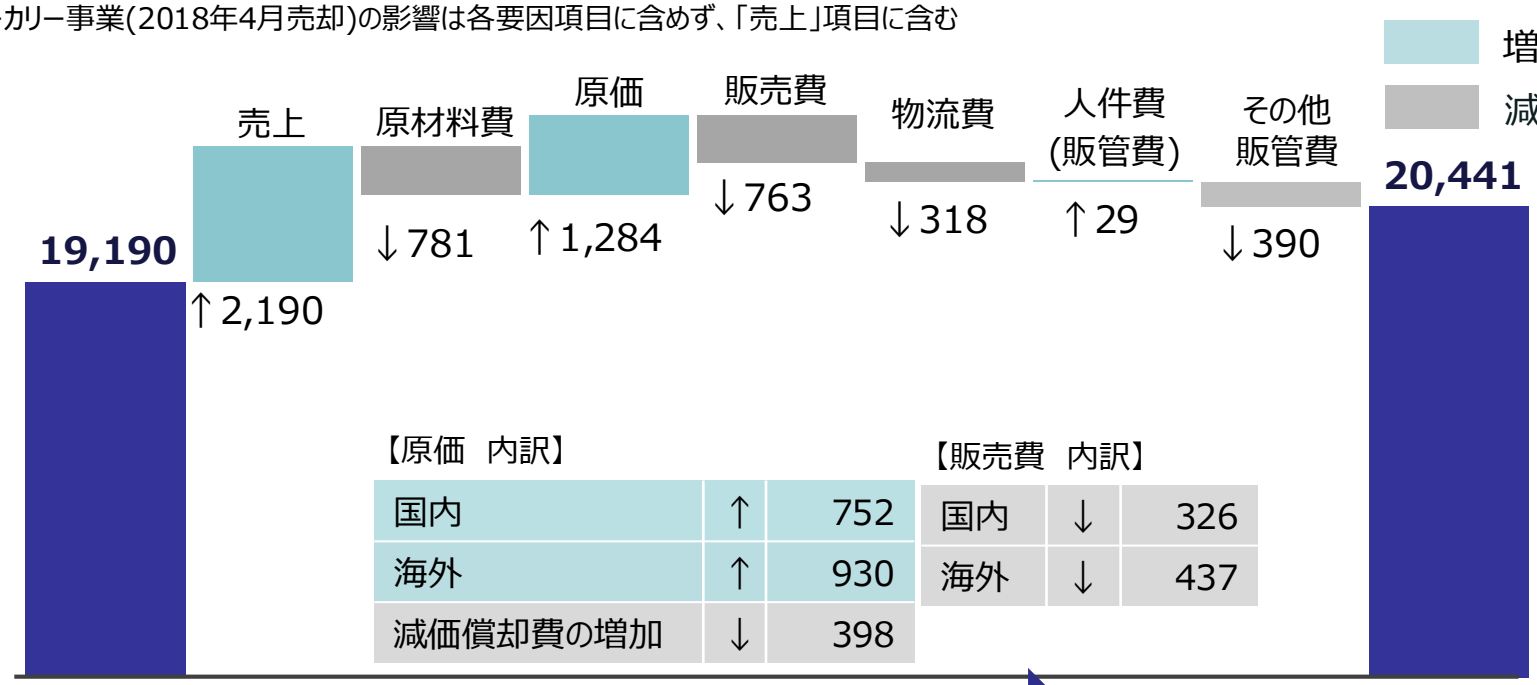
2019年３月期第３四半期業績　営業利益分析

掘りだそう、自然の力。 Calbee

営業利益の増減（前年同期比）

*ベーカリー事業(2018年4月売却)の影響は各要因項目に含めず、「売上」項目に含む

（百万円）



【原価　内訳】

国内	↑	752
海外	↑	930
減価償却費の増加	↓	398

【販売費　内訳】

国内	↓	326
海外	↓	437

2018年３月期第３四半期【9ヶ月】

前年同期比　＋1,251百万円

2019年３月期第３四半期【9ヶ月】

	FY'18/3	売上	原材料費	原価	販売費	物流費	人件費	その他	FY'19/3	前年同期比
上期	**10,338**	↑1,846	↓283	↑1,270	↓840	↑34	↓389	↓235	**11,740**	＋1,402
第３四半期	**8,852**	↑344	↓498	↑14	↑77	↓352	↑419	↓156	**8,700**	△151

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

1．2019年３月期第３四半期業績報告

2．2019年３月期通期計画修正

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

2019年３月期通期計画修正

掘りだそう、自然の力。
Calbee

計画修正

■売上：大幅増収を見込んでいた北米、インドネシア等の海外スナックの進捗遅れ、国内フルグラの売上伸び悩み

■利益：売上未達影響に加え、物流費の上昇および食油、包材等の原材料価格の高騰によるコスト悪化を反映

	2019年3月期 通期計画（当初）		伸び率（前期比）	2019年３月期 通期計画（修正）		伸び率（前期比）	計画修正額
	(百万円)	売上高比(%)	(%)	(百万円)	売上高比(%)	(%)	(百万円)
売上高（ベーカリー子会社売却影響を除く伸び率）	255,000	100.0	+1.4 (+6.9)	**249,000**	100.0	△1.0 (+4.4)	△6,000
営業利益	29,500	11.6	+10.0	**26,900**	10.8	+0.3	△2,600
経常利益	29,000	11.4	+10.8	**27,000**	10.8	+3.1	△2,000
当期純利益	19,000	7.5	+9.6	**19,000**	7.6	+9.6	0

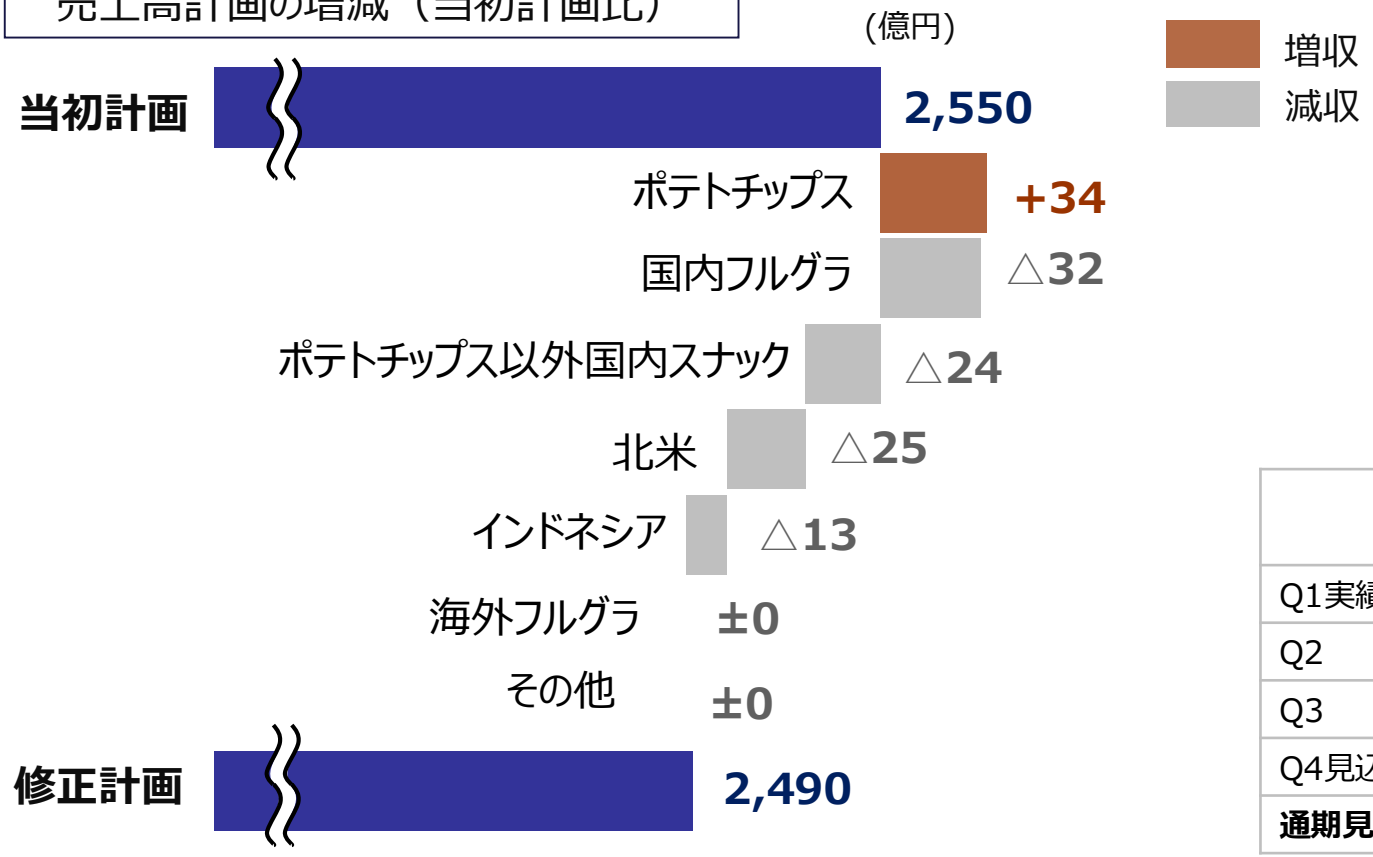
Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

2019年3月期通期計画修正　売上高

掘りだそう、自然の力。
Calbee

国内：ポテトチップスの増収がフルグラをカバーするも、ポテトチップス以外のスナックが伸びず
海外：海外フルグラは計画どおり、北米等の海外スナックを下方修正

売上高計画の増減（当初計画比）

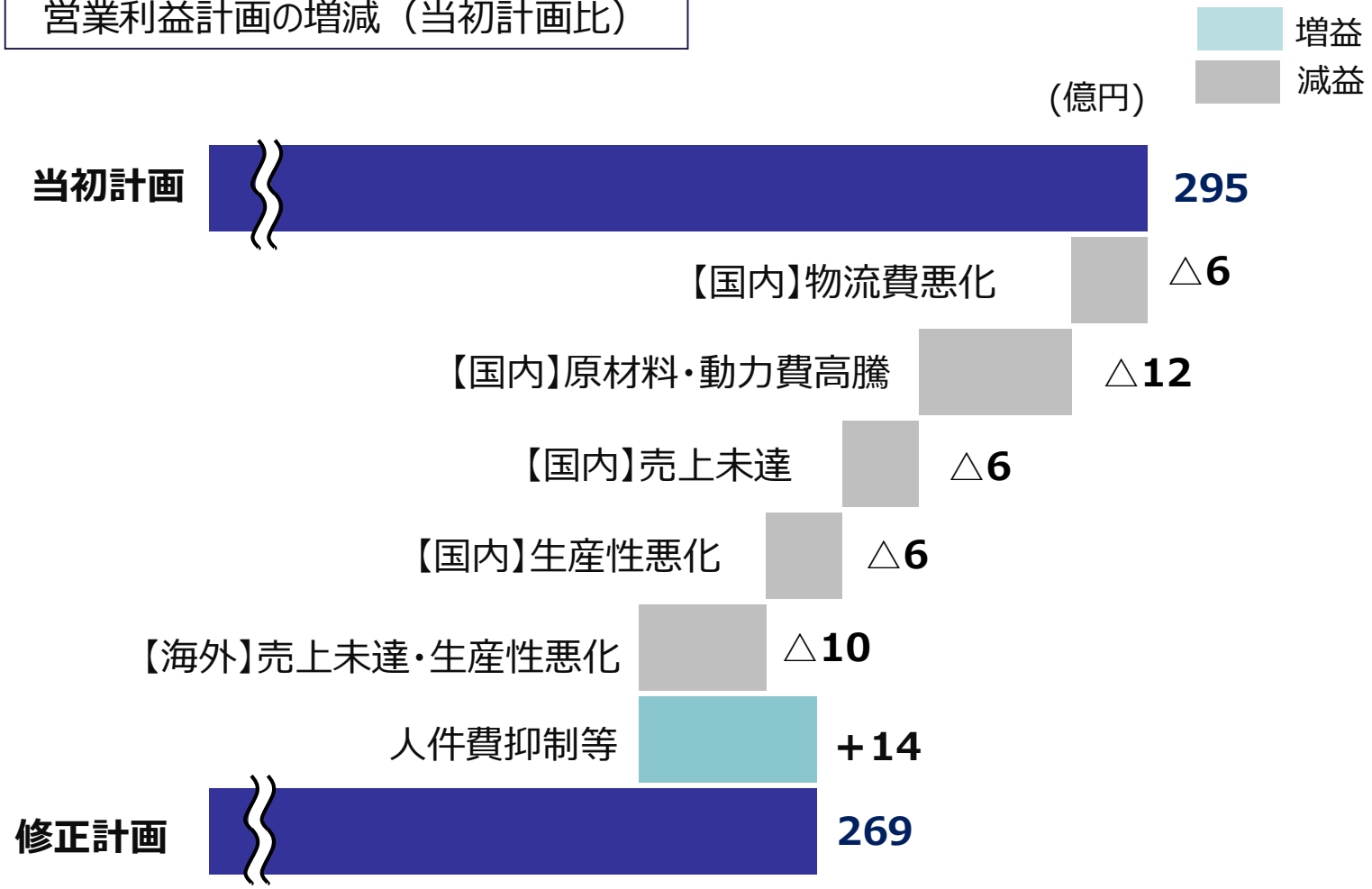


	当初計画との差額
Q1実績	＋3
Q2	△26
Q3	△29
Q4見込み	△8
通期見込み	**△60**

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

2019年3月期通期計画修正　営業利益

営業利益計画の増減（当初計画比）



Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

2019年3月期通期計画修正

掘りだそう、自然の力。
Calbee

		現状と課題	第４四半期以降の注力ポイント
1	コストの上昇	● 物流費の高騰 ● 包材、食油等の原材料費の上昇	● コスト上昇の対応(自動化、商品スペック等の見直しの検討) ● 流通改革による販売費コントロール
2	国内フルグラ	● 成長が踊り場 ● 新規顧客層が広がっていない	● 商品の拡張（機能性、携帯性に着目した商品の発売）
3	海外事業		
	北米	● 既存商品「Harvest Snaps」の伸び悩み ● コスト改善は順調に進む	● 継続的なスナック新商品の開発・発売 ● じゃがりこ、フルグラ等グローバルブランドの展開に向けた施策開始
	中国	● フルグラの輸出販売は順調に拡大	● ビッグデータを活用した新規顧客の開拓、Eコマースでの売上拡大
	インドネシア	● 市場シェア拡大が進む ● 高い原価率により赤字継続	● 増設ラインの稼働アップを目指す ● 製造コストの削減に注力
	UK	● ポテトチップス事業（Seabrook社）の買収	● 事業体制見直しによるコストシナジーを目指す

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

参考資料

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

連結損益計算書　2019年３月期第３四半期

掘りだそう、自然の力。
Calbee

	2019年３月期 第３四半期 【９ヶ月】		伸び率	期初計画比	2019年３月期 第３四半期 【３ヶ月】		伸び率	期初計画比
	(百万円)	構成比 (%)	(%)	(%)	(百万円)	構成比 (%)	(%)	(%)
売上高	187,022	100.0	+0.2	97.3	65,955	100.0	△2.8	95.8
国内売上高	157,290	84.1	△2.6	98.9	54,704	82.9	△6.9	97.3
海外売上高	29,731	15.9	+18.0	89.9	11,251	17.1	+23.4	89.4
売上総利益	83,572	44.7	+4.4	96.2	30,239	45.8	△1.0	95.2
販売管理費	63,130	33.8	+3.7	98.5	21,538	32.7	△0.7	99.7
販売費	28,990	15.5	+8.5	97.9	10,047	15.2	+1.4	100.5
物流費	12,862	6.9	+0.1	103.1	4,658	7.1	+2.1	106.1
人件費	13,437	7.2	△1.9	94.3	4,309	6.5	△10.3	90.0
その他	7,840	4.2	+2.7	101.4	2,523	3.8	+3.9	103.8
営業利益	20,441	10.9	+6.5	89.7	8,700	13.2	△1.7	85.6
経常利益	20,840	11.1	+7.3	93.2	8,280	12.6	△6.6	83.7
特別損益	1,351	–	–	–	△269	–	–	–
当期純利益	15,019	8.0	+14.9	101.6	5,390	8.2	△10.5	82.4

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

連結損益計算書　2019年３月期通期計画修正

掘りだそう、自然の力。
Calbee

	2018年3月期		2019年3月期（期初計画）		2019年3月期（修正計画）	
	（百万円）	構成比（%）	（百万円）	構成比（%）	（百万円）	構成比（%）
売上高	251,575	100.0	255,000	100.0	249,000	100.0
国内売上高	217,774	86.6	210,471	82.5	208,271	83.6
海外売上高	33,801	13.4	44,528	17.5	40,728	16.4
売上総利益	108,904	43.3	114,500	44.9	111,000	44.6
販売管理費	82,075	32.6	85,000	33.3	84,100	33.8
販売費	36,921	14.7	38,900	15.3	38,700	15.5
物流費	17,345	6.9	16,600	6.5	17,100	6.9
人件費	17,686	7.0	19,400	7.6	17,900	7.2
その他	10,122	4.0	10,100	4.0	10,400	4.2
営業利益	26,828	10.7	29,500	11.6	26,900	10.8
経常利益	26,179	10.4	29,000	11.4	27,000	10.8
特別損益	△80	–	△200	–	1,100	–
当期純利益	17,330	6.9	19,000	7.5	19,000	7.6

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

2019年３月期通期計画修正　売上高製品別・地域別

掘りだそう、自然の力。 Calbee

(百万円)

	2018年3月期	2019年3月期				
		期初計画	修正計画	前期比(%)	対期初計画	
					増減額	率(%)
国内売上高	217,774	210,471	**208,271**	△4.4	△2,200	△1.0
ポテトチップス	77,007	80,275	83,675	+8.7	+3,400	+4.2
じゃがりこ	35,695	37,330	37,580	+5.3	+250	+0.7
上記以外スナック	62,872	61,693	59,043	△6.1	△2,650	△4.3
シリアル	23,836	27,320	24,120	+1.2	△3,200	△11.7

(百万円)

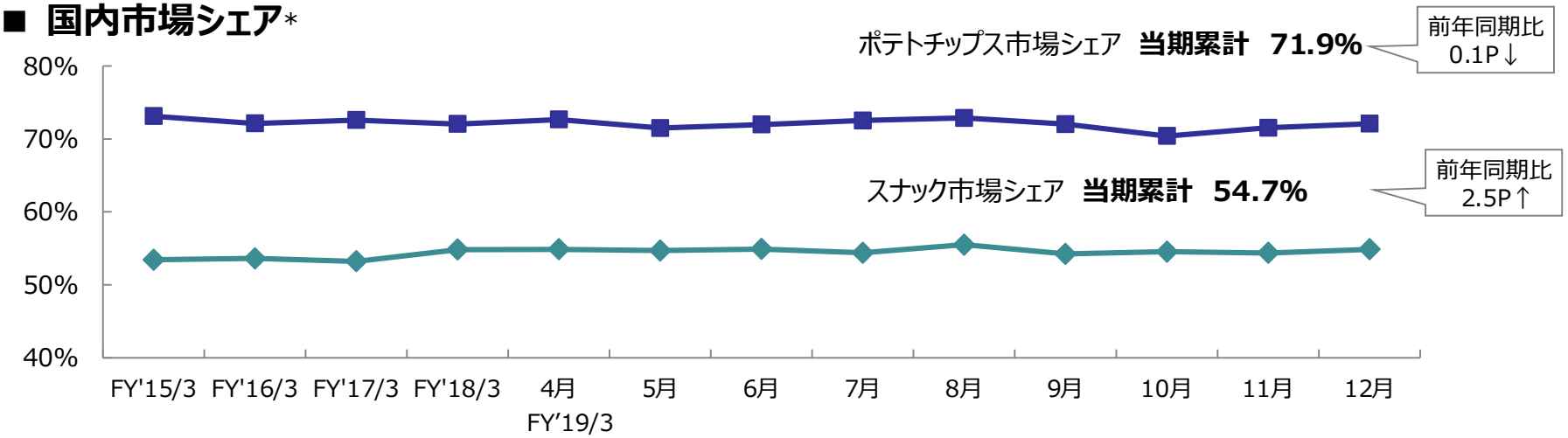
	2018年3月期	2019年3月期				
		期初計画	修正計画	前期比(%)	対期初時計画	
					増減額	率(%)
海外売上高	33,801	44,528	**40,728**	+20.5	△3,800	△8.5
北米	9,843	12,297	9,797	△0.5	△2,500	△20.3
インドネシア	2,965	5,298	3,998	+34.8	△1,300	△24.5
韓国	5,283	5,202	4,602	△12.9	△600	△11.5
中華圏	8,718	12,945	11,845	+35.9	△1,100	△8.5
UK	1,390	2,336	4,136	+197.6	+1,800	+77.1
その他	5,599	6,449	6,349	+13.4	△100	△1.6
使用為替レート(円/USD)	110.8	113.0	110.8			

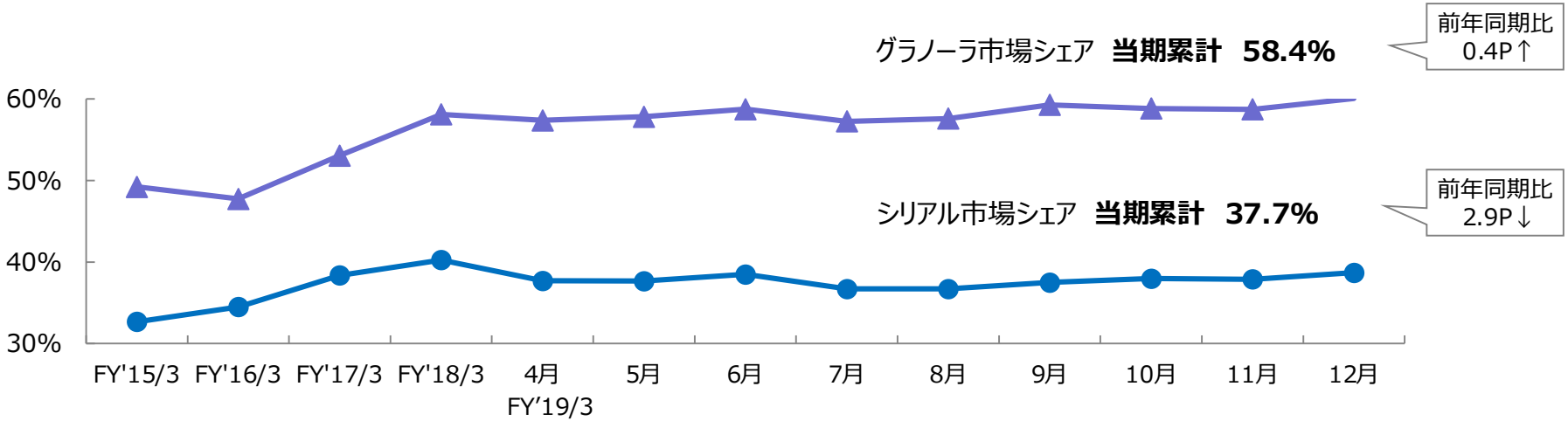
Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

国内事業の状況

掘りだそう、自然の力。
Calbee

■ 国内市場シェア*





* 出所：㈱インテージSRI 全国全業態 金額ベース
当期累計：2018年4月～2018年12月
前年同期：2017年4月～2017年12月
FY'15/3-FY'19/3：2014年4月～2019年3月
スナック市場シェア：カルビーとジャパンフリトレーの合計
ポテトチップス市場：ポテトチップス(生薄切り・生厚切り)・ポテトシューストー・ケトル合算、非公開PB含む

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

本資料に関するお問い合わせ：

カルビー株式会社　IR部

E-mail：2229ir@calbee.co.jp

https://www.calbee.co.jp/ir/

- グラフ上の事業年度表記はFY(Fiscal Year)を用いています。FY2019/3(FY'19/3)は2019年3月期を指しており、他の事業年度も同様に表記しております。特にその指定がない表記は、暦年を表しています。
- 本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関係する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

掘りだそう、自然の力。
Calbee

2019 年2月5日開催
2019 年3月期第3四半期決算説明会での主な質疑応答

Q1　物流費、原材料費等のコストが上昇しているなかで、価格政策に対する考え方を教えてほしい。また、来期のコスト上昇はどのくらいを見込んでいるのか。
対応として、製造工程の自動化や商品スペックの見直し等を考えており、その中で価格政策も継続して検討しております。今期は当初計画に対して 15 億強のコストの悪化があり、来期は物流費を筆頭として今期以上に上昇のリスクがあるとみています。

Q2　今期第３四半期（3ヶ月）でポテトチップスが減収となったのは、生産キャパシティの問題なのか？今後は価格政策によって生産数量を減らしていく考えはあるのか？
ポテトチップスの工場稼働率はフル稼働に近い状況が続いています。前年同期は、原料馬鈴しょの歩留まりが例年より良いことが生産量に貢献し、高い売上水準を計上しました。当社は馬鈴しょ契約農家から全量買い取り契約での調達をしていることもあり、今後も生産数量を減らしていく考えはありません。

Q3　国内のポテトチップス以外のスナックの動向は？
好調なポテトチップスの影響を受け、それ以外のスナックの需要が落ちている面があります。しかしながら、国内スナック全体では増収となっており、スナック全体で来期以降も伸ばしていきたいと考えています。

Q4　国内フルグラの動向は？
国内のフルグラは第３四半期（3ヶ月）では売上の底打ちが見えてきたことにより、当社のグラノーラシェアが回復していますが、市場自体は伸び悩んでいます。現状のフレーバーやサイズ展開だけでなく、来期以降はバーなどの新たな形態の商品等によってカテゴリーを増やし、売上拡大を図っていきます。

Q5　北米の売上推移をどう見ているか？北米は売上が伸びれば利益も伸長するのか？
北米はオーガニックの Harvest Snaps の導入が計画に対して現在８割程度であり、今後も導入を進めていくことで売上を回復させていく方針です。利益面に関しては、コスト構造の改善は進んでおり、今後は売上を回復させて現状約5割程度の稼働率を上げることができれば、利益の伸長につながります。

Q6　中国のトレンドはどうか？中国の売上計画の下方修正はスナックによるものか？
中国向けフルグラの需要は好調で、当初計画から変更ありません。中国経済の減速リスクがあるため、来期以降も継続して大幅伸長となるかは、現時点では慎重に見ています。今期の中国の売上計画の修正はスナックの減収によるものです。

Q7　ポテトチップスとフルグラの足元の店頭価格が下がっているように見えるが、販売費をどのようにコントロールしていく考えなのか？
フルグラに関しては、需要の動向を見ながら効果的に販売費を投入していく必要がありますが、利益に大きく影響を与えるような値引きは抑制する方針です。国内のスナックについては、休売からの再開で非常に需要が強かった前期と比べると販売費率は上昇していますが、当初計画の範囲内でコントロールができています。

Q8　今期第４四半期は減収、減益の計画となっているが、減益の要因を教えてほしい。第３四半期から第４四半期で大きく悪化する要因はあるのか。
国内の原材料費および動力費などのコストが第３四半期以降上昇しており、第４四半期においてもこれらのコスト影響を織り込んでいます。

以上